

生活科 授業改善推進プラン

1 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> 植物の栽培では、進んで世話をする姿が見られたが、教師に声をかけられないと世話をしない時もあった。 生活の中での体験や気づきを基に考えることが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培では、自ら世話をして観察を行うなど、積極的な姿勢が見られた。 学校探検では、2年生として自覚をもち、1年生を楽しませようとする様子が見られた。 				

2 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、身近な人々や自然と関わる機会を増やし、児童が興味のあることやこれまでの経験を学習に結び付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に、調べる視点を与えて、実際にインタビューする中で生きた知識にしていく。 				
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 国語科で学んだ観察の視点を生かして観察したり表現したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語の「かんさつ名人になろう」の単元などに関連付けて取り組む。植物の観察を行う。 				
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活やこれまでの体験と結び付けて考えさせ、気づきが広まるような発問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との関わりを大切にし、友達のよさや自分のよさを感じられるように、発表の場を多く設ける。 				

※太枠内は、特に重視する内容